



平成22年6月28日

配布先

長岡市記者会
長岡地域記者会

国土交通省 長岡国道事務所の

記者発表資料です

本誌の投込みを持って解禁

現地画像配信の実動訓練を延期します。

長岡国道事務所では、本日(28日)予定しておりました通信衛星を利用した現地画像配信の実動訓練を延期します。

これは、北陸地方整備局の災害対策本部が警戒体制となったこと、および長岡地域に洪水警報発令中であるためです。(6月28日8時30分現在)

なお、本訓練は、再度日程調整のうえ実施することとし、再度記者発表を行います。

お問合せ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 防災情報課長 大瀬 宝 (内線281)

[電話] 0258-36-4551 (代)



平成22年6月24日

配布先

長岡市記者会
長岡地域記者会

国土交通省 長岡国道事務所の

記者発表資料です

本誌の投込みを持って解禁

～ 災害に備えて～

現地画像配信の実動訓練を実施します。

長岡国道事務所では、地震などの災害に備えた取り組みとして、通信衛星を利用した現地画像配信の実動訓練を実施します。

中越地震や中越沖地震では、山間奥地等での被災映像情報をいち早く当事務所や北陸地方整備局、関係自治体などに配信し、その後の復旧活動を進める上で効果的な役割を果たしました。

この訓練は、当事務所職員を対象に現在、北陸地方整備局が防災通信機器として各事務所に配備している「Ku - SAT (ケイユウサット)」（衛星小型画像伝送装置）を使用して、実動訓練を実施するものです。

1. 実施日時:平成22年6月28日(月) 9:00～ 9:30 机上説明会
9:30～ 11:30 実動訓練
(長岡国道事務所構内にて実施)

雨天時には、延期する場合がありますのでご了承ください。

2. 実施場所:長岡国道事務所構内

3. 訓練内容:Ku - SAT (衛星小型画像伝送装置)の実動訓練

Ku - SATは直轄管理区間の災害だけでなく、自治体からの要請により貸し出しも行っています。

Ku - SATとは、日本から見てほぼ南方向の地上約36,000kmの静止軌道にある通信衛星を利用して画像(動画)の通信を行うことのできる装置で、地上波では通信の難しい地形の災害現場においても、リアルタイムに現地画像情報を収集できるものです。なお、「Ku」とは衛星通信に使用される「Kuバンド」という周波数帯を意味するもので、CS放送などで使用される「Cバンド」より高い周波数であるため、大容量の情報通信が可能であり、アンテナが小型化できるという特徴があります。また、「SAT」は「サテライト＝衛星通信」を意味しています。

お問合せ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 防災情報課長 大瀬 宝 (内線281)
[電話] 0258-36-4551(代)

パソコンはこちらからアクセスして下さい <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

中越・中越沖地震の経験を踏まえ、安全で安心な地域づくりを

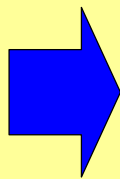
中越地震や中越沖地震の際、「Ku-SAT」を活用し、被災状況を映像にて迅速に把握できたことで早期の応急復旧につながりました。

この経験を踏まえ、職員が素早く「Ku-SAT」を操作できるように実動訓練を行います。

H19.7中越沖地震におけるKu-SATによる現地画像の配信

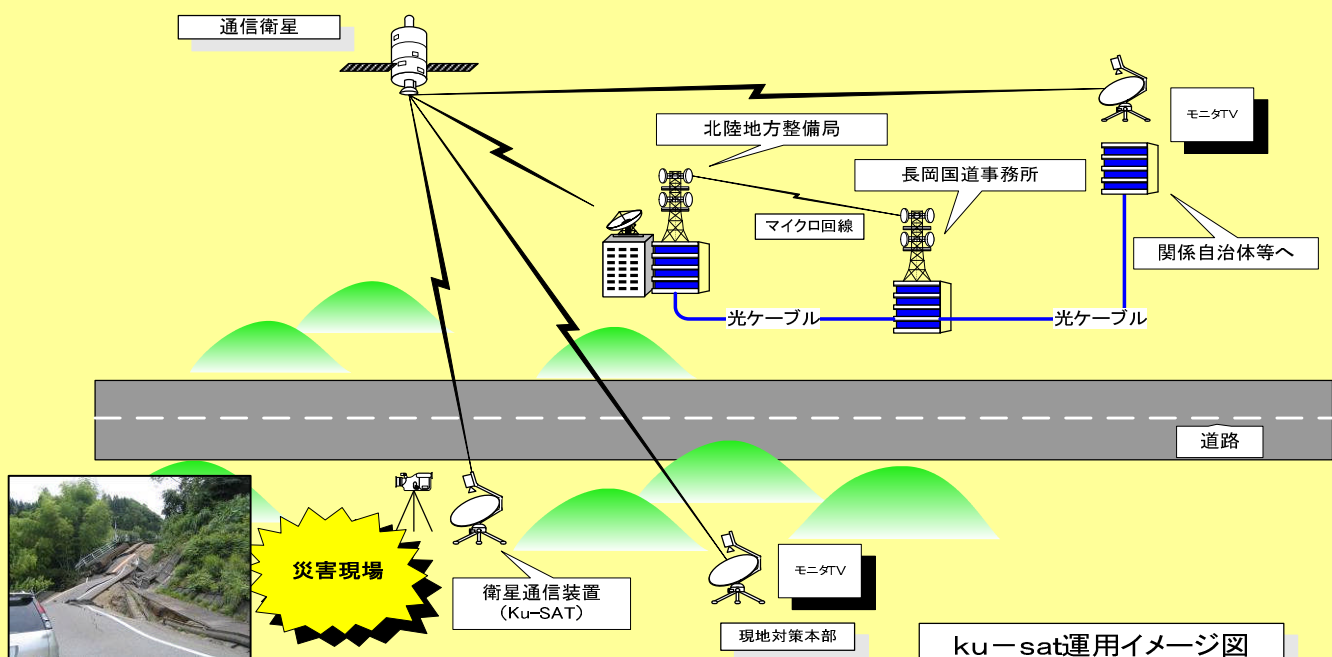


画像伝送



平成19年7月に起きた中越沖地震での、装置設営状況と実際に伝送された映像です。現地に運搬してから概ね45分程度で画像を伝送しました。

Ku-SAT運用イメージ図



Ku-SATの運用の概要は、上記イメージ図のとおりです。災害現場から通信衛星を介して北陸地方整備局や長岡国道事務所、光ケーブルによる伝送や装置の貸し出しによる関係自治体での映像の受信も可能です。

また、通信衛星による伝送であるため、山岳地帯の現場からも伝送が可能です。